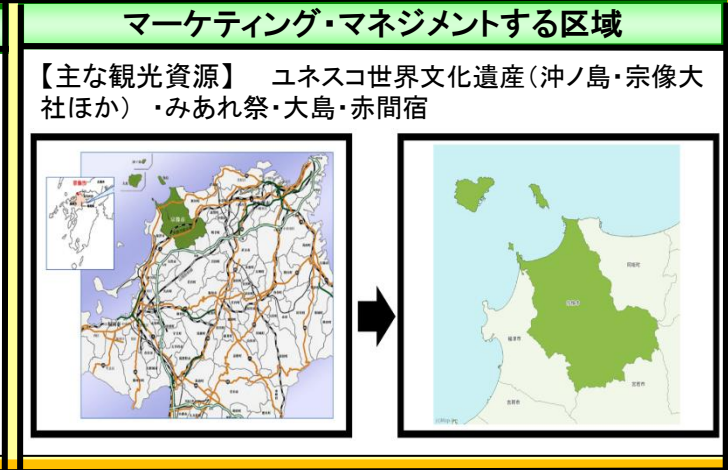
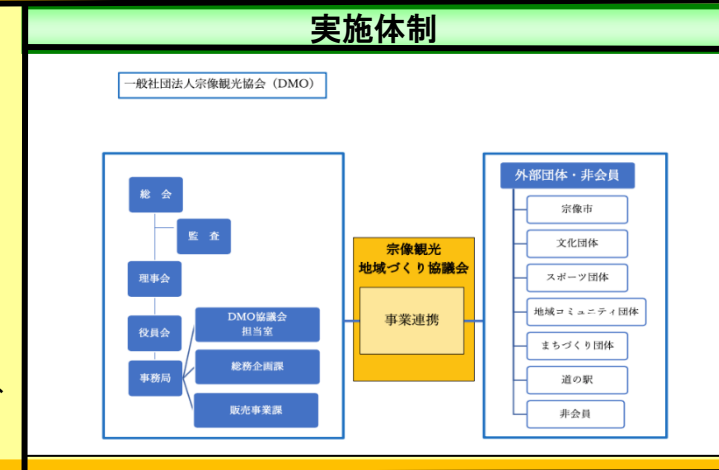


【区域】 福岡県宗像市
【設立日】 2007年7月2日
【代表者】 小林正勝
【マーケティング責任者(CMO)】
山口 真史
【財務責任者(CFO)】
稲田 亨
【職員数】 16人(常勤2人:正職員2人・パート14人)
【連携する主な事業者】
宿泊施設、飲食店・商工業(宗像市商工会等)、神社 仏閣(宗像大社、鎮国寺等)、農業(宗像農業組合等)、漁業(宗像漁業組合等)、旅客・運送業(JR九州、西鉄バス宗像、タクシー事業者等)、道の駅むなかた、筑前七浦の会



合意形成の仕組み

【該当する登録要件】
① 当協会では、上記の会員の中から、ホテル旅館組合、宗像市商工会、宗像農協、宗像漁協、JR九州、西鉄バス宗像、タクシー協会などの観光地域づくりを支える団体・事業者が理事に就任しており、理事会においてそれぞれの活動状況を報告しつつ、当協会の事業や地域観光の課題等を協議している。
② 産業5団体及び市の会議である「産業振興戦略プロジェクト」では、産業団体が横串で地域産業の振興を図るため、課題及び新規プロジェクト等の協議を行っている。

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】

- 観光プラットフォーム事業
- 宗像観光おみやげ館の運営、特産品の開発・販売
- 同県の観光協会とマスコミと協力し、県外PR活動
- 県、市の世界遺産課と地域事業者との連携調整
- 玄界灘海域の観光協会と連携し、水産品の販売、PR

【観光資源の磨き上げ】

- 水産品(フグ、イカ、アナゴ等)のブランド化
- 世界遺産構成資産と地域文化施設の連携協力支援
- ジビエ肉の販売と連携調整
- 特産品開発と販路拡大事業
- 各種ツーリズムの着地型観光商品の造成、販売
- 様々な対内外イベントの参画及び協力

【受入環境の整備】

- 道の駅むなかたとの連携と観光情報コーナーの運営
- 観光ボランティアガイドの連携と支援
- 地域の観光関連関係者と連携した受入れ体制の構築

戦略

【主なターゲット】
第1ターゲット層:福岡県内に(特に、福岡市、北九州市、筑豊方面)及び隣接県を中心とした経済的に裕福なシニア層
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・地域名物を活用した更なる新商品を開発し販売する。
・開発料理を宿泊商品に造成販売し、販売網を確立。

【主なターゲット】
第2ターゲット層:福岡県内に(特に、福岡市、北九州市、筑豊方面)及び隣接県を中心としたファミリー層
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・満足度調査を実施し、再来訪意向につながる要因を分析し、観光コンテンツを磨き上げる。
・消費額の底上げを図るべく、市内飲食店の協力のもと、新たなご当地メニューを提供する。

【主なターゲット】
第3ターゲット層:関東及び関西からの観光客。
欧米豪のインバウンドファミリー層(アフターコロナ)
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・アフターコロナのインバウンド施策を検討する。

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

- 宗像DMO 協議会の設立、セミナー、ワークショップ、委員会等の開催
- 観光人材養成講座を開設し、地域で提供する観光サービスに係る品質を向上させる施策を実施
- SNS、観光アプリ等を利用した効果的なプロモーション

KPI(実績・目標)

()内は訪日外国人旅行者に関する数値

指標項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30)年	(R1)年	(R2)年	(R3)年	(R4)年	(R5)年
●観光消費額 (百万円) ※コロナ禍以前の目標	目標	—	—	5,100※	2,700	4,000	6,000
	実績	4,548	5,480	—	—	—	—
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	—	—	—	170	250	380
	実績	381	342	—	—	—	—
●来訪者満足度 (%)	目標	—	—	—	82	83	84
	実績	—	71.5	81.1	—	—	—
●リピーター率 (%)	目標	—	—	—	73	74	75
	実績	66.7	66.3	71.8	—	—	—

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】

■当協会の体制充実強化を図ることにより、市内の観光関連の「人」「金」の好循環が生まれる 制度を確立し、会費収入、市からの受託収入のほか、滞在・体験型プログラム造成による安定した運営資金を確保する。

- ①新規会員の開拓(会費の増加)。
- ②効果的な観光プロモーションを宗像市から受託して行う。
- ③滞在・体験型旅行商品(高付加価値)を造成し販売を行うなど。